

2022年11月24日

各位

住所 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
(本社事務所 東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号)

会社名 GMO アドパートナーズ株式会社

代表者名 代表取締役社長 橋口 誠
(コード番号 4784 東証スタンダード)

問合せ先 専務取締役 菅谷 俊彦

TEL 03-5728-7900

URL <https://www.gmo-ap.jp/>

2022 年 12 月期第 3 四半期決算に関する Q & A

当社の 2022 年 12 月期 第 3 四半期決算に関して、これまで株主および投資家の方々からいただいたお問い合わせについて、その内容と回答について、以下の通りお知らせいたします。

なお、本開示は、市場参加者のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものです。決算内容の詳細については、末尾に記載しております決算短信および決算補足資料をご覧ください。

Q. 取扱高が前年同期+113%・営業利益が前年同期+190.1%と大きく伸びていますが、主な要因はなんですか。また、この好調の状況は今後も続きますか。

A. 当社はコロナ禍においても、既存のお客様としっかりとつながり、新しいお客様へもアプローチを続けてきました。また、メディア領域では巣ごもりの影響もありユーザー獲得が進みました。

足もとでは、コロナ禍で続いた様々な制限が緩和されつつあり、それにより広告需要が回復したお客様からの発注が増えています。さらに、利益率の高い自社メディアである「michill by GMO」や自社アフィリエイトサービスにおいて、蓄積したノウハウを活用し、継続して伸ばすことができていることから、この度発表した業績へとつながりました。引き続き広告需要は活発であり、この状況は続くと考えております。

Q. 営業利益以下は修正後の業績予想を上回っています。過年度の第 4 四半期の様子を考えたときに、業績予想が据え置かれている理由はなんですか。

A. Q4 に関しては来期の成長に向け、人財やシステム面を中心とした戦略投資を実施する予定であるため、通期業績予想は据え置きとさせていただいております。なお、売上に関する進捗は好調となっており、通期予想を据え置きとしている

背景は上記の投資によるものです。見通しに変動があった際は適宜開示してまいります。

Q. 新規取り組みのメタバース関連の事業について、名古屋グランパス様との取組もリリースされている「NFT プロデュース byGMO」とはどのようなサービスでしょうか。

A. 「NFT プロデュース byGMO」は NFT を活用したプロモーション企画をトータルでご提案するものです。名古屋グランパス様との取組においては、クラブ創立 30 周年を記念したデジタルグッズを NFT 化し、多くの皆様へお届けするファンコミュニケーションを、企画から制作にいたるまでサポートさせていただいています。今後はこの NFT プロデュースなどを中心としたメタバース空間でのマーケティング支援についても積極的に展開していく予定です。

ご参考：<https://www.koukoku.jp/release/20221025/>

※NFT (Non-Fungible Token) とは、画像・動画・音声などのデジタルコンテンツと組み合わせることで、「コンテンツ / データの保有証明書」として活用されている技術です。従来のデジタルデータと異なり、複製不可能であることから希少価値が生まれ、ゲームやアートを中心に、著作権・不動産の所有権証明などの分野でも実用化が進んでいます。

Q. 最近の急激な為替相場の変動や電気料金の高騰といった影響はありますか。

A. 現時点では大きな影響はありません。当社では自前のデータセンターなどの大容量の電気利用をしておらず、また円貨以外の決済ボリュームは多くないことから、業績に大きな影響を与える見込みはありませんが、見通しに変動があった際は適宜開示してまいります。

(ご参考)

- ・2022 年 12 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結) 2022 年 11 月 7 日公表
- ・2022 年 12 月期 第 3 四半期 決算補足資料 2022 年 11 月 7 日公表

(決算に関するお問合せ)

経営企画部 MAIL：mc-ir@gmo-ap.jp TEL：03-5457-0916

免責事項

- ・本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料は 2022 年 11 月 7 日公表の 2022 年 12 月期第 3 四半期決算の内容に関して、いただいたお問合せ内容に基づき、一部表現を修正して公表するものであります。
- ・本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の見解であり、将来に関する記述については様々な要因によって変動する可能性がありますことをご承知おきください。

以上